

◆**単元名**：第6章 国際社会に生きる私たち 1 国際社会の平和を目ざして
「④地域統合の光と影」(教科書 pp.202-203)

◆**本時の目標**：

世界各地の地域統合の利点や課題について、自由貿易や国境通過の自由化、通貨統合など、国際的なパートナーシップ構築の恩恵と弊害、その構築をめぐる主権国家内の対立や合意に着目・追究することで理解を深める。

《本時の展開例》

	学習活動	留意点	デジタル教科書・教材
導入 (7分)	<ul style="list-style-type: none"> ●動画視聴「ヨーロッパの地域統合」 地理的分野の学習を踏まえた振り返り。 ●教科書 pp.202-203 本文を読む。 デジタル教科書を電子黒板に提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の導入として、地理的分野のヨーロッパ州の既習内容を簡単に振り返ってから、動画を視聴する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書に掲載された pp.202-203 の動画を視聴する。
展開 (38分)	<ul style="list-style-type: none"> ●協働学習 (25分) …A～F グループに分かれて、以下のテーマで地域統合について調査・考察を行う。 <u>A グループ</u>：日本が設立当初から加盟している APEC の加盟国や地域を確かめ、それぞれの国や地域がもつ経済や資源の強みと弱みを整理しよう。 <u>B グループ</u>：日本が関わる地域統合を確かめよう。日本が多様な国や地域と関わる事で、どのようなメリットとデメリットがあるか整理しよう。 (参考 TPP→p.182、貿易→p.187) <u>C グループ</u>：ASEAN+3 は、ASEAN と日中韓の 3 カ国のそれぞれの国や地域にどのようなメリットがあるだろうか？日中韓の電子産業や自動車産業の企業も調べてみよう。 <u>D グループ</u>：EU のメリットとデメリットを整理すると共に、イギリスの EU 離脱をめぐる国民投票の賛否の比率を調べてみよう。 <u>E グループ</u>：AU アフリカ連合が対処すべき課題を p.208-209、213、214-215 の主題図やグラフから見つけ、整理しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A～F グループ (5～6名) に分け、調査・考察に取り組む。 ・地域統合の加盟国や地域、企業はインターネットで調査する。地域統合のメリットやデメリットはネット検索でも出てくるが、情報量が多く記載内容も難しいことがあるため、できるだけ教科書から調べるように促す。 ・地域統合の特色を整理する際に、各班にデジタル教科書にある白地図をプリントアウトしたものか JPEG データを配布し、情報の整理に活用させる。 ・B グループは第5章2節②の既習内容と関連付けるようにアドバイスする。 ・D グループのイギリスの EU 離脱をめぐる国民投票の賛否の比率が僅差であったことに気づかせ、賛否に至る世論について調べてみるように促す。 ・E グループは、アフリカの現状について、各ページの主題図やグラフから貧困や飢餓、紛争、難民 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書→アイコン「教科コンテンツ」→「白地図」から、各地域の白地図をプリントアウトして配布、若しくは JPEG データを配信する。 ・E グループの調査資料として、〈p.208・④「アフリカの主な紛争地域」、209・⑤「難民の出身国・地域別人数」、213・④「一人当たりの国民総所得(GNI)」、214・③「世界の飢餓状況を示すハンガーマップ」、215・⑥「世界の地域別水資源と、人口、面積比較」〉を使用。 ・〈p.203・⑨「象のカーブ」〉の解説では、アイコン「どうぐ」→「図形・スタンプ」・「ふせん」→を活用する。図形や付箋は色の変更ができる。解説しながら、図

	<p>Fグループ： APEC と USMCA のアメリカ合衆国にとってのメリットの違いを考えよう。また自由貿易は、アメリカの製造業で働く労働者にどのような影響があるか、考えてみよう。</p> <p>●調査・考察の結果の共有（13分）・・・A～F 班の各班員は分散し、六つのテーマを共有できるように班を「再編」。各班、6 テーマを共有できる班に再編後、生徒は端末を使用しながら説明する。</p>	<p>の実態について読み取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Fグループには、〈p.203・9「象のカーブ」〉を電子黒板に表示し、補助線や付箋、図形アイコンを使用して図の解説をする。 ・A～F グループの班員に通し番号1～6を割り当て、同じ番号の生徒同士で、グループをつくる。 ・各班がまとめたワークシートを撮影し Classroom に提出する。 	<p>形の挿入や付箋の編集は時間がかかるため、授業者が解説しやすいように、事前に授業準備の段階で編集しておくが良い。</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>●国際的なパートナーシップ構築の恩恵や主権国家内の対立から「地域統合の光と影」について整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は Google フォームで記入し、送信する。 	

◆指導にあたって：

○本時の展開では、地域統合をめぐる内容について、地理的分野の既習内容である EU(ヨーロッパ連合) について振り返り、導入にする。展開では、貿易や国境通過の自由化による経済的利益の最大化をめぐる、主権国家の中で「対立」が生じることに着目させる。国際的なパートナーシップの構築の「恩恵と弊害」をめぐるは、時に国論を二分する議論に発展する。イギリスで EU 離脱をめぐる国民投票(2016)が行われ、アメリカ大統領選挙(2016)では、米国第一と保護主義を強める大統領が当選し、TPP 交渉離脱や NAFTA 廃止が進められた過程から、自由貿易の負の側面が鮮明となった。いずれの先進国でも、発展途上国への工場移転は、製造業の比重低下と雇用喪失を招き、移民流入をめぐるは雇用をめぐる民族的対立が、寛容と排他主義に二分する政治的分断を生んだ。「象のカーブ」に象徴される「先進国の労働者階層」の所得伸び率停滞の背後で、先進工業国が発展途上国への投資や技術移転、雇用創出によって競争相手を自ら作り出し、国際競争の加熱を招いて先進国の労働者階層にその負担を強いたことは、反グローバリズムや排他主義発生の原因を見極める上で重要である。第5章で学んだグローバル化する経済と関連付けながら、地域統合の光と影について多面的・多角的に考察・追究させ、生徒の理解につなげていきたい。

◆デジタル教科書活用のねらい：

○本時では、地理的分野での既習内容の振り返りとして、「ヨーロッパの地域統合」の動画を導入に使用した。授業展開の時間の関係上、再生時間は予め確認しておくよう留意されたい。動画の再生速度は「ふつう」、「はやい」で調整ができる。

◆授業の改善案・さらに活用するポイント：

○p.203 の 9「象のカーブ」の解説では、「どうぐ」アイコンから、図形や付箋をつけて説明に活用したい。授業者の補助的な説明を要する資料は、予め、説明しやすいように透過性のある図形や付箋をつけてアレンジしておく、授業を円滑に進めることができる。

